

閉町のあいさつ

未来に向かって翔ばたけ宮之城



宮之城町長

北村 信之

私たちのふるさと宮之城は、豊かな自然に恵まれた山紫水明の地です。

宮之城となつて410年、社会・経済情勢は大きく変遷する中、本町は町民の皆さまのたゆまぬ努力により、幾多の困難を乗り越えて北薩地域の中心として発展してきました。

これも、これまで町政に携わり、町政を支え導いてこられた多くの先輩諸賢や豊かな郷土づくりに邁進されてきた町民の皆さまのご尽力の賜物と深く感謝し、敬意を表する次第であります。

今日、我が国の経済は長引く不況の中で景気回復の兆しはあるものの、地方においては、依然として厳しい状況にあり、本町を取り巻く状況もまた同じものがあります。過疎化、少子高齢化が一段と進む中で、これまで第4次町総合振興計画の将来像に「人と自然が調和した躍動する希望の町」を掲げ、あらゆる施策を積極的に推進し、その実現に向けて、町民一丸となつて取り組んで参りました。

今、地方分権・行財政改革のもと、「平成

の大会併」が進み、本町おきましても、来る3月22日に新町「さつま町」として生まれ変わります。

平成の大会併という大きな時代の変革の中で、我が町「宮之城町」の名が消えていくことは町民の皆さまにとつても一抹の寂しさに加え感慨深いものがあると思いますが、「宮之城町」という名は永遠に町民の心に残っていくものと思います。

そして、今こそ私たちは、町の担い手として若いも若きも町民一人ひとりが手を携え、来るべき新しい時代に向けて、主体性を発揮し、知恵を出し合い、努力を惜しまず、新しい町として、地方の時代にふさわしい希望のもてる魅力ある町づくりに向けて邁進しようではありませんか。